

■研究推進委員会 活動計画書

提出日：2024 年 11 月 30 日

名 称	パークマネジメント研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：赤澤宏樹（兵庫県立大学/WUPJ）
幹 事	氏名（所属）： ・入江彰昭（東京農業大学/WUPJ） 連絡先（e-mail アドレス）：03-5477-2677(teruaki@nodai.ac.jp) ・稲熊高子（株式会社ヘッズ大阪） 連絡先（e-mail アドレス）：06-6373-9369(t.inaguma@heads-net.co.jp)
その他 構成員	氏名（所属）： 金岡省吾（熊本大学）、加我宏之（大阪府立大学）、川口将武（大阪産業大学）、竹田和真（大阪産業大学/WUPJ/公園管理運営士会）、竹内智子（千葉大学）、嶽山洋志（兵庫県立大学）、塚田伸也（兵庫県立大学） 石川啓貴（国土交通省）、西尾紀彦（東京都） 西山秀俊（株式会社グラック/WUPJ）、佐藤留美（NPO 法人 birth）、石井裕子（公園財団）、齋藤桃子（日比谷アメニス）、恵谷真（公園マネジメント研究所） ＜オブザーバー＞ 兵頭勲（大和リース株式会社）
目 的	都市公園等における指定管理者制度の導入以降、P-PFI をはじめとした官民連携による公園の整備や管理運営をとりまく状況が大きく変化している。コロナ禍の状況も含め、社会や市民の公園に対する意識やニーズ、公園に求める役割も変化し、利活用の活性化を通じた波及効果として健康福祉、教育学習、にぎわい創出、コミュニティ形成、子育て支援、不動産価値など多様な機能が求められている。 これらの機能を発現させる主体や体制も多様になり、DEI の観点や DX 等の技術を含めた経営手法も発展しており、一部では社会実装も進んでいる。一方で、ローカルルール必要性など社会実装に伴い生じた新たな課題や、これらの潮流から取り残された身近な公園の増加などの現実もある。 これらの状況を俯瞰し、パークマネジメントの枠組みを改めて構築するために、本研究推進委員会は、マネジメント従事者や研究者、コンサルタント、行政担当者等のプラットフォームとして、情報共有・発信、議論の場、更なるマネジメントの展開や課題解決を図るための研究を推進することを目的とする。
活動計画 及び 想定される 成果 (1 年目)	(1) オンライン勉強会の企画と開催 ・本研究会構成員が中心となって、先進事例や技術に関する講師を招いたオンライン勉強会を開催する。関連他分野や行政、施工業界等の非学会員をはじめ、国内外のどこからでも参加できるようにし、当該分野のネットワークを拡げる。 (想定する成果) ・全国大会、支部大会以外のコミュニケーションの場を増やし、学術的な知見や先進事例をわかりやすく普及させることで、造園分野、パークマネジメントに関心を持つ関係者のネットワークを増やす。 (2) 全国大会、支部大会におけるミニフォーラムの企画と開催 ・オンライン勉強会の成果、勉強会から派生したテーマや課題を広く共有、議論する場として、全国大会及び支部大会でミニフォーラムを開催する。 開催にあたっては、Web会議システムを活用したハイブリッド方式とし、参加者の居住地/勤務地や属性に関わらず、多くの人が参加、情報を共有、討議に参加できるようにする。

	(想定する成果) ・各地で様々な形で展開されているパークマネジメントに関する取り組み、様々な課題と解決に向けた取り組みを共有することが可能となる、マネジメントの従事者や研究者のボトムアップに繋げるきっかけをつくりだすことに繋げられる。 (3)活動成果の発信 ・上記(1)、(2)に関する取り組みを通じて、パークマネジメントの枠組みを改めて構築する。その情報を学会研究推進委員会 HP など広く発信、アーカイブとして蓄積する。
(2 年目)	(1) オンライン勉強会の企画と開催(1年目から継続) (2)全国大会及び支部大会におけるミニフォーラムの企画と開催(1年目から継続) (3)活動成果のまとめと発信 ・2年間の活動を通して集まった情報を体系化した書籍や提言としてとりまとめ、活動成果を発信する。 (想定する成果) ・全国各地で展開されている様々な取り組みをまとめることで、パークマネジメントに従事する実務者、研究者、学生が今日的な取り組みや課題を体系的に把握することが可能となり、今後の展開に生かすことが可能となる。